

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	代表者	中村達志理事長	法人・ 事業所 の特徴	人としての尊厳を重んじ、人生の先輩としての尊敬の念をもって、利用者様の自立支援を心掛けます。利用者様、ひとりひとりの声を大切に、安らげる家庭的な雰囲気のもとに、安心して快適な生活が楽しめるよう努めます。地域の人々、ボランティアの方々のご協力を得ながら、地域に開かれた施設を目指し、地域福祉の拠点としての役割を担います。
事業所名	サンホームあまがさき東館 ゆとり庵『一步』	管理者	木村和美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	4人	1人	1人	人	人	2人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有し、実践に繋げる。	共に生き支え合える地域社会を目指し、地域の方々と共に、避難訓練を合同で開催したり、研修や講座なども行った。	地域に向けた催しや共に活動をすることで、交流が深まり、意見や要望を、言いやすい関係になった。	地域との関わりや交流を、今後も継続し、利用者様や、ご家族様、地域の方々のニーズを考慮し、展開していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	整理整頓を意識した。感染対策の強化をしながらも、季節に応じたレイアウトや環境整備を行う。	利用者様と共同で作品を制作し、フロアや居室を装飾した。感染対策も継続して行った。	明るく、笑顔で、声掛けも優しくて居心地の良い環境である。家庭的な雰囲気も良いと思う。	必要な感染対策の継続。災害に備えた訓練や備品の確保、点検を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	利用者様が地域とつながりを持ちながら暮らし続けられるように、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流をする。	毎月20日に、地域の方々と共に、クリーン活動をしたり、訪問パン販売、婦人会によるキムチ販売やバザーなどを開催し、たくさんの方に来ていただいた。	地域に向けて、バザーや、パンの販売をしてくれたり、地域のクリーン活動を住民やボランティアと行ったりと、地域との関わりは強いと思う。	今後も、地域の方々も参加していただける訓練や研修、認知症についての講座も継続して開催する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域にある社会資源を活用するために、地域に出向き関係作りをする。	地域の行事やイベントに利用者様と共に参加し、利用者様と地域との繋がりも大切にした。	感染対策をしながらの外出は大変だと思うけれど、継続して行って欲しい。	これからも地域のイベントに参加し、ご本人、ご家族様が地域に溶け込んだ生活が送れるよう支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で話し合ったことや、事例検討したことなどは、サービスの質の向上や、地域支援に繋げる。	運営推進会議の開催や小規模多機能居宅介護のサービスの特徴を知っていただく為にも、地域の方々に会議に参加してもらった。	地域の意見を聞いていただき、施設内だけでなく、地域の住民が参加できる訓練や研修を開催していただき、嬉しく思います。家族会開催もとても良かった。	地域の方々からの相談や要望には、今後も可能な限り、応えていく。
F. 事業所の防災・災害対策	備蓄品の整備や、地域の方々が避難して来られた際のことを想定した避難訓練をおこなう。	地域の方々と共に、洪水を想定した避難訓練や防災講座を開催した。簡易トイレについての説明や消火器訓練も住民の方々と一緒に行った。	事業所が開催された防災訓練に実際に参加させていただき、非常階段を使用したり、実際の避難場所が見れて、安心ができた。	プラザや学校などで開催されている地域の訓練にも参加する。